

- 1 濃尾平野を形成する、木曽川・長良川・揖斐川の3つの大きな河川をまとめて何という？
 ① 利根川 ② 木曽三川 ③ 信濃川 ④ 淀川
- 2 低地で洪水などの水害を防ぐために、集落の周りを堤防で囲んだ土地利用を何という？
 ① シラス台地 ② 段々畑 ③ カルスト ④ 輪中
- 3 かつての水晶細工の技術を生かし、山梨県で発達した精密な工業を何という？
 ① 自動車工業 ② 鉄鋼業 ③ 精密機械工業 ④ 石油化学工業
- 4 愛知県を中心に、自動車や機械関連などの工業が非常に発達し、日本最大の工業生産額を誇る地域を何という？
 ① 中京工業地帯 ② 北九州工業地帯 ③ 阪神工業地帯 ④ 京浜工業地帯
- 5 山梨県にある、周囲を高い山々に囲まれ、夏と冬の寒暖差が大きい盆地を何という？
 ① 松本盆地 ② 甲府盆地 ③ 長野盆地 ④ 京都盆地
- 6 愛知県に位置し、世界的な自動車メーカーの本社があることから自動車工業が非常に盛んな市を何という？
 ① 四日市市 ② 日立市 ③ 豊田市 ④ 浜松市
- 7 岐阜県北部の白川村にあり、豪雪に耐える急勾配の屋根が特徴的な、世界遺産にも登録されている伝統的な建築様式を何という？
 ① 合掌造り ② 長屋門 ③ 竪穴住居 ④ 高床倉庫
- 8 信濃川の下流に広がる、稲作が非常にさかんな広大な平野を何という？
 ① 関東平野 ② 仙台平野 ③ 筑紫平野 ④ 越後平野
- 9 長野県から岐阜県を流れ、愛知県と三重県の県境付近で注ぎ込む湾を何という？
 ① 富山湾 ② 伊勢湾 ③ 相模湾 ④ 駿河湾
- 10 福井県で眼鏡フレームの国内シェアが非常に高く、産地として知られる市を何という？
 ① 豊田市 ② 岡崎市 ③ 浜松市 ④ 鯖江市
- 11 静岡県にそびえ立ち、標高3776メートルで日本最高峰を誇る山を何という？
 ① 富士山 ② 桜島 ③ 浅間山 ④ 阿蘇山
- 12 愛知県を中心に盛んな、日本の製造業の大きな割合を占める工業の種類を何という？
 ① 石油化学工業 ② 鉄鋼業 ③ 自動車工業 ④ 造船業
- 13 愛知県の西部に広がり、木曽川などの河川によってつくられた肥沃な平野を何という？
 ① 筑紫平野 ② 濃尾平野 ③ 越後平野 ④ 関東平野
- 14 輪中のように、河川の氾濫による浸水を防ぐために集落の周囲に築かれるものを何という？
 ① 堤防 ② 堰 ③ 石積み ④ 導流堤
- 15 富山県において、雪解け水をもたらし、扇状地が発達するきっかけとなった高く険しい山脈を何という？
 ① 赤石山脈 ② 鈴鹿山脈 ③ 立山連峰 ④ 木曽山脈



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	木曽三川 は、岐阜県から愛知県・三重県にかけて流れる3つの主要河川です。		2 木曽三川	☐
2	輪中 とは、集落や田畑の周囲を堤防でぐるりと囲んだ土地利用の形です。		4 輪中	☐
3	細かな部品を扱う水晶細工で培われた手先の器用さや加工技術が、後に時計やカメラ、医療機器などを製造する 精密機械工業 へと引き継がれました。		3 精密機械工業	☐
4	中京工業地帯 は、愛知県を中心に三重県や岐阜県の一部まで広がる日本最大の工業地帯です。		1 中京工業地帯	☐
5	内陸部にあるため海からの湿った空気が届きにくく、夏は非常に暑く冬は冷え込むという顕著な寒暖差があります。		2 甲府盆地	☐
6	豊田市 は、日本を代表する自動車メーカーの工場が集まる企業城下町として発展しました。		3 豊田市	☐
7	合掌造り は、その名の通り手のひらを合わせたように三角形に組まれた急勾配の屋根が最大の特徴です。		1 合掌造り	☐
8	新潟県にある 越後平野 は、日本最大級の平野であり、広大な水田が広がっています。		4 越後平野	☐
9	愛知県と三重県に囲まれた 伊勢湾 は、太平洋に面した湾です。		2 伊勢湾	☐
10	明治時代に眼鏡づくりが導入されて以来、分業体制を確立し、高い技術力を維持してきました。		4 鯖江市	☐
11	富士山 は静岡県と山梨県にまたがる、日本で最も高い山です。		1 富士山	☐
12	愛知県は世界的な自動車メーカーの本拠地があり、その関連工場が周辺地域に多数集まっています。		3 自動車工業	☐
13	濃尾平野 は日本有数の広大な平野で、温暖な気候を利用して稲作や野菜の近郊農業が盛んです。		2 濃尾平野	☐
14	堤防 は、河川の流れを制御し、増水時に周辺の集落や農地へ水が流れ込むのを防ぐための設備です。		1 堤防	☐
15	立山連峰 は、富山県東部に位置する日本屈指の山岳地帯です。		3 立山連峰	☐

言えなかった用語ノート